



# 第18回上田八木・金融政策サーベイ(2018年3月)の結果について

～3月のMPM予想は回答者の99%が政策変更なしの見方。3か月先の金利予想は2年と10年金利で上昇を予想する先が減少。出口開始時期は今から1年未満との見方が6%に減少(前回13%)。

2018年3月7日(水)  
上田八木短資株式会社

## 【調査の総括】

- 回答者(176先)の99%が3月のMPMで政策変更なしとの見方。
- 3か月先のO/N金利予想は前回と同じ(DI+6)、2年金利と10年金利は上昇を予想する先が減少した。
- 金融緩和からの「出口開始時期」は、「1年未満」の見方が6%と前回(13%)より減少する一方、「1年以上3年未満」(前回65%→今回71%)、「3年以上」(前回22%→今回23%)と若干増加した。

## 【調査の概要】

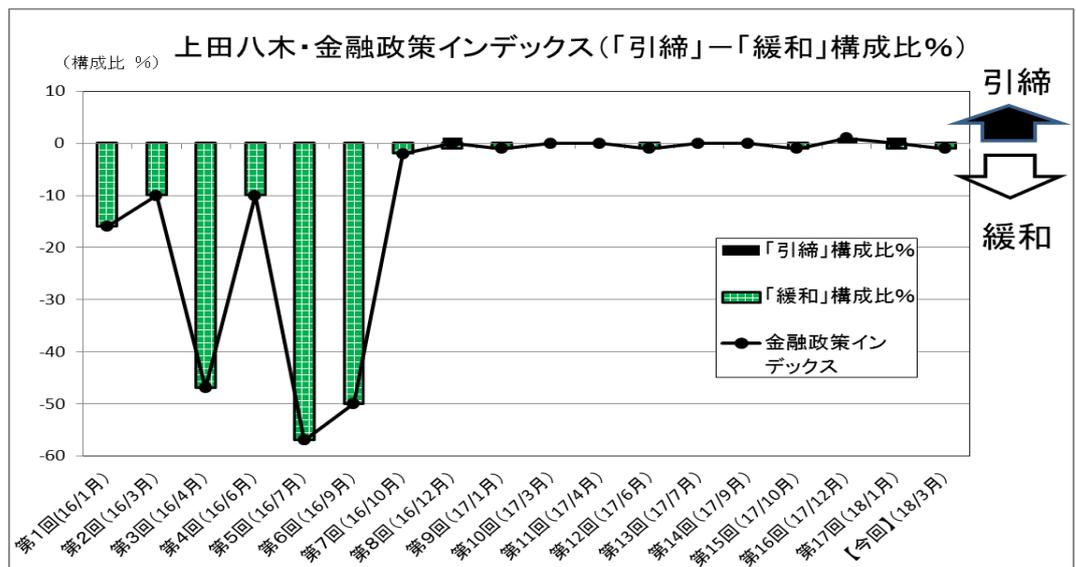
調査方法	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(197先)
調査方法	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2018年3月2日～6日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	89.3% (回答者数176先<Q1における回答者数>)

## 【調査結果】

(Q1)日本銀行の次回の金融政策決定会合(3月8日～3月9日)における決定について

回答者の99%が「不変」の見方(前回98%)。

上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、▲1だった(前回±0)。



(ご参考)

【今回11回目となる追加質問:Q5】現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント含む)からの出口開始時期は?

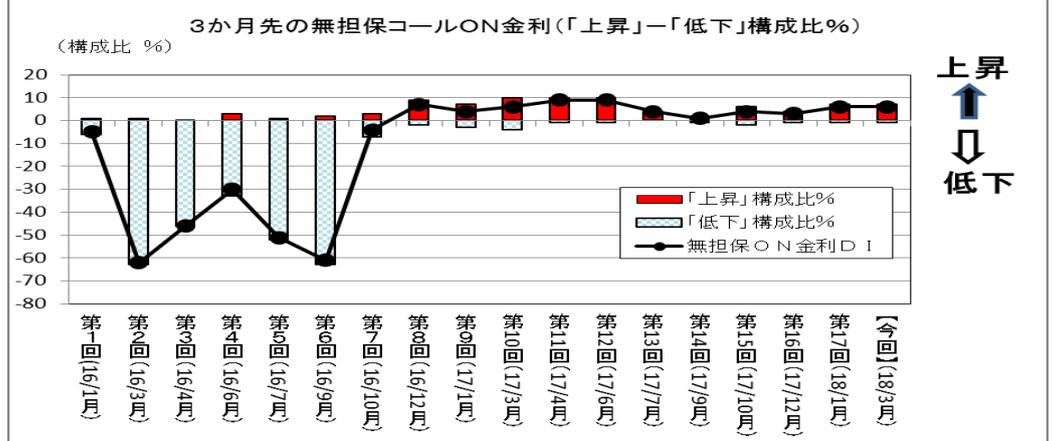
1年未満と回答する先が6%に減少(前回13%)。



(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の92%が「不変」と予想。1%が「低下」を予想、「上昇」とみている先は7%だった。

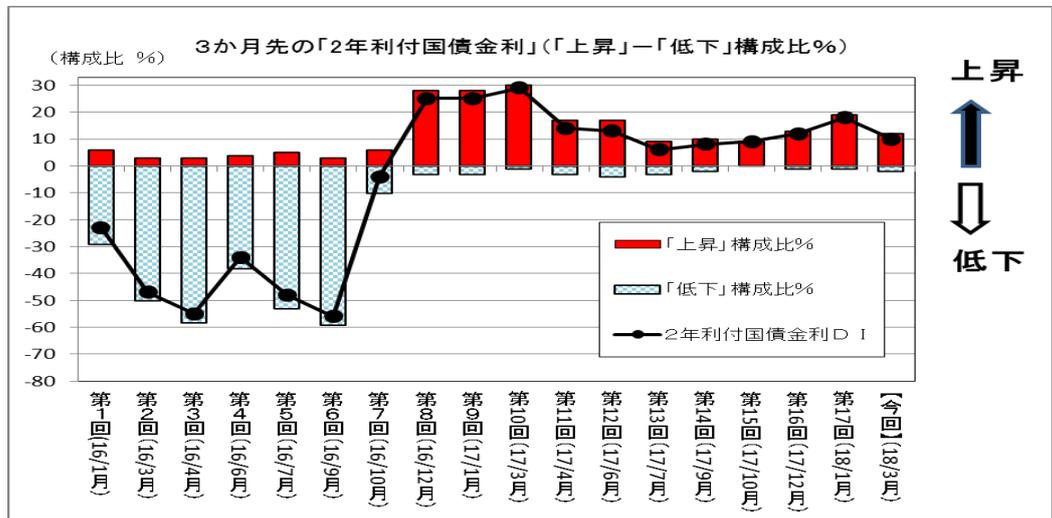
前回との比較では、「低下」とみる先は1%と前回と同じ。「不変」とみる先は92%と前回と同じ。「上昇」とみる先は7%と前回と同じ。



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の86%が「不変」を予想。「低下」を予想する回答者2%。「上昇」を予想した先は12%であった。

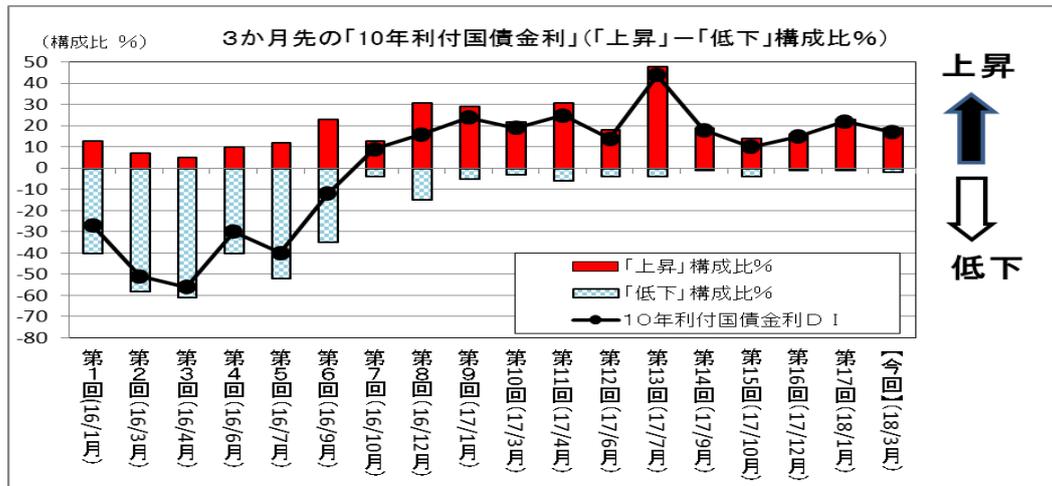
前回との比較では、「低下」とみる先は+1%ポイント(前回1%→今回2%)。「不変」とみる先は+6%ポイント(前回80%→今回86%)。「上昇」とみる先は▲7%ポイント(前回19%→今回12%)。



(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の79%が「不変」を予想。2%が「低下」、「上昇」を予想した先は19%。

前回との比較では、「低下」とみる先は+1%ポイント(前回1%→今回2%)。「不変」とみる先は+3%ポイント(前回76%→今回79%)。「上昇」とみる先は▲4%ポイント(前回23%→今回19%)。



【本調査に関する照会先】  
企画部 島本、酒井 (電話 03-3272-0293)



# 第18回上田八木・金融政策サーベイ(2018年3月)

発表日：2018年3月7日（水）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2018年3月2～6日
調査先	197先
回答率	89.3%

## （Q1）日本銀行の次回の金融政策決定会合（3月8日～3月9日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回1月19日)	変化幅
緩和	1 (構成比%)	1	+0
不変	99	98	+1
引締	0	1	▲1
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	▲1	0	▲1

## （Q2）3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回1月19日)	変化幅
低下	1	1	0
不変	92	92	0
上昇	7	7	0
短期金利予想DI	+6	+6	0

## （Q3）3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回1月19日)	変化幅
低下	2	1	+1
不変	86	80	+6
上昇	12	19	▲7
2年国債金利予想DI	+10	+18	▲8

## （Q4）3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回1月19日)	変化幅
低下	2	1	+1
不変	79	76	+3
上昇	19	23	▲4
10年国債金利予想DI	+17	+22	▲5

## 質問（Q5）現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメント）からの出口開始時期はいつ頃か。

（ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません）

	(今回)	(前回1月19日)	変化幅
1. 1年未満	6%	13%	▲7%
2. 1年以上3年未満	71%	65%	+6%
3. 3年以上	23%	22%	+1%